

修士論文・博士論文を作成される数学・数理解析専攻数学系院生へ

修士論文・博士論文を作成される方を対象に、9月より下記の利用を可能といたします。
(ただし、活動制限のレベルの状況によっては、このサービスの運用を見直すこともあります。)

【利用にあたっての注意事項】

- ・体調不良の場合、数学図書室の利用は出来ません。
- ・図書室利用時にはマスク着用と手の消毒をお願いします。
- ・下記サービスの利用はすべて**メール事前予約制**により行います。

【対象者】 修士論文・博士論文を作成する M2, D3 の大学院生、および指導教員の許可を得た大学院生(*)
(*)指導教員から図書室に事情をご連絡いただく必要があります。

【サービス内容】

- ① 修士論文の閲覧
- ② 貸出冊数の上限 20 冊
- ③ 電子ジャーナルを利用できない論文の複写

【詳細】

- ① 修士論文の閲覧
 - ・**閲覧希望の修士論文の年度、閲覧を希望する日時**の第1・第2希望を**前日までに**メールでお知らせください。
 - ・入室時に検温をお願いいたします。検温結果が37.5℃以上の場合、修士論文の閲覧はできません。
 - ・複数名での閲覧は出来ません。
 - ・閲覧時間は 10:00-12:00, 13:00-16:00 の間で、原則 30 分程度とします。利用は短めをお願いします。
 - * 博士論文は数学図書室では所蔵しておりません。
 - * 修士論文の複写は著者本人の許可が必要です(著者本人への取次は行っておりません)。
- ② 貸出冊数の上限 20 冊
貸出冊数の上限を、通常 10 冊のところを 20 冊にします。(貸出期間はこれまで通り 3 か月です。)
 - * 図書の出借は、4/13 以降の臨時閉室中の貸出手続きを継続します。
(<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/library/ano.php#200413>)
- ③ 電子ジャーナルを利用できない論文の複写
数学図書室所蔵雑誌の文献で、**電子ジャーナルによる閲覧ができないもの**だけを受け付けます。
 - ・図書の複写依頼は対象外です。(必要な図書は借りてください。)
 - ・電子ジャーナルが利用可能であるかどうかを KULINE (<https://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>) で調べてから依頼してください。(電子ジャーナルの利用が可能な文献の複写依頼はお断りします。)準備が整いましたら、メールいたしますので、お知らせする期限内に図書室に取りに来てください。
 - * 文献の複写申込が多数となり、通常の図書事務業務に支障が出る場合、文献複写サービスの運用を見直すこともあります。利用にあたっては、ご注意ください。

図書委員長